米の北朝鮮担当辞任へ

対話重視派、政策に影響も

【ワシントン＝後藤孝好】米国務省は二十六日、ジョセフ・ユン北朝鮮担当特別代表＝写真＝が三月二日付で辞任すると明らかにした。北朝鮮が平昌冬季五輪を機に、米朝の直接交渉に前向きな姿勢を示し始めた中、対話による解決を重視してきた政府高官が去ることで、対北政策に影響が出る可能性もある。

ユン氏はCNNテレビに「この時点で辞めるのは完全に私の決断だ。ティラーソン国務長官が渋々受け入れた」と説明。ワシントン・ポスト紙は、トランプ政権で外交官の権限が小さくなり、国務省内で不満が広がっている状況を反映していると指摘した。

ユン氏はオバマ前大統領時代の二〇一六年十月、北朝鮮の核・ミサイル問題を担う特別代表に就任。東京やソウルを頻繁に訪れて日米韓の連携強化に努めたほか、北朝鮮で拘束されて昏睡状態に陥り、帰国後に死亡した米国人大学生オットー・ワームビアさんの解放に向け、昨年六月に平壌を訪問して直接交渉した。

北朝鮮政策に関しては、ブッシュ（子）政権で北朝鮮の核問題を巡る六カ国協議の次席代表を務めたビクター・チャ氏が、北朝鮮への限定的な先制攻撃に反対したとして、駐韓大使への起用を見送られた。国務省では、ナンバー3のシャノン国務次官（政治担当）が辞任を表明するなど、高官ポストの空席が目立つ。

パラ五輪応援団 北朝鮮派遣せず

南北実務者会議

【ソウル＝境田未緒】三月九日に韓国で開幕する平昌冬季パラリンピックへの北朝鮮の参加を話し合う南北実務者会議が二十七日、軍事境界線のある板門店（パンムンジョム）で開かれ、代表団と選手団のの派遣が決まった。韓国統一省によると、北朝鮮側は今回、芸術団と応援団の派遣を見送った。

会議の共同報道文によると、北朝鮮の代表団と選手団は三月七日、陸路で韓国入り。北朝鮮のパラリンピック参加と関連した具体的な事項は今後、板門店での文書交換で合意するとしている。代表団は四人、選手団は十人。選手団の規模は今後、国際パラリンピック委員会と協議して最終決定する。

神戸新聞社人事（27日）大阪支社長（営業局次長）石井嘉彦▽テ